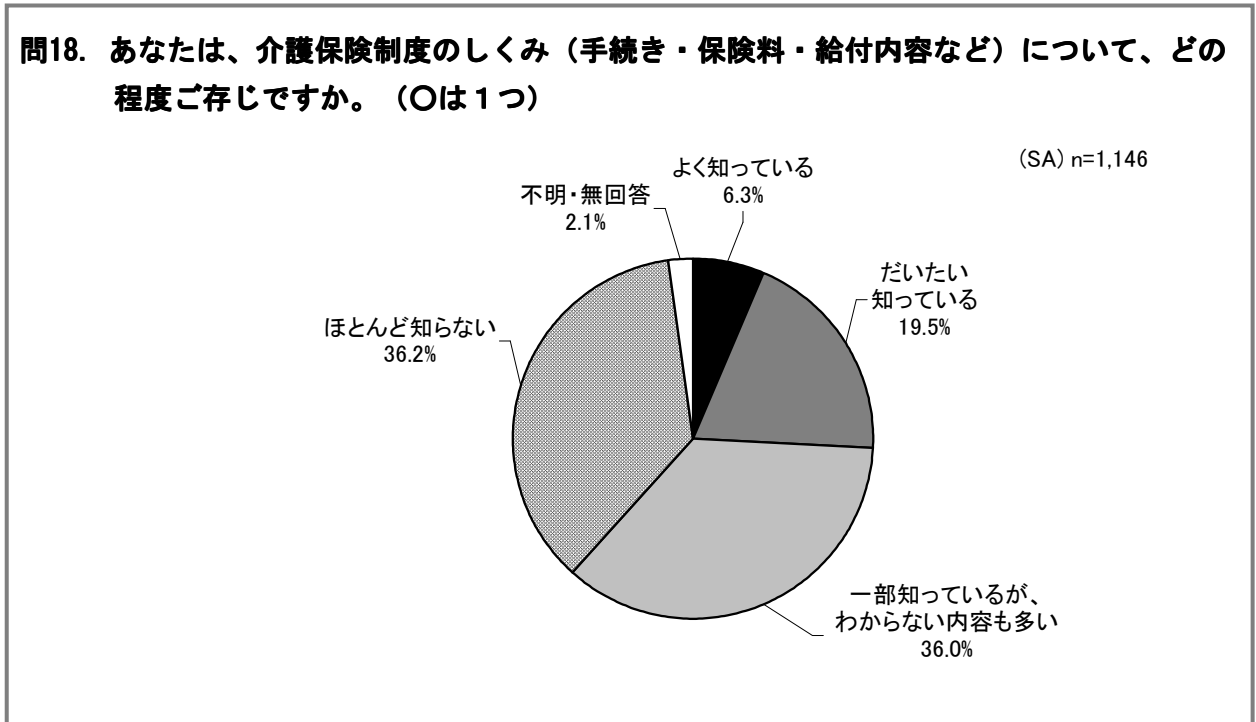


3 介護保険制度などについて

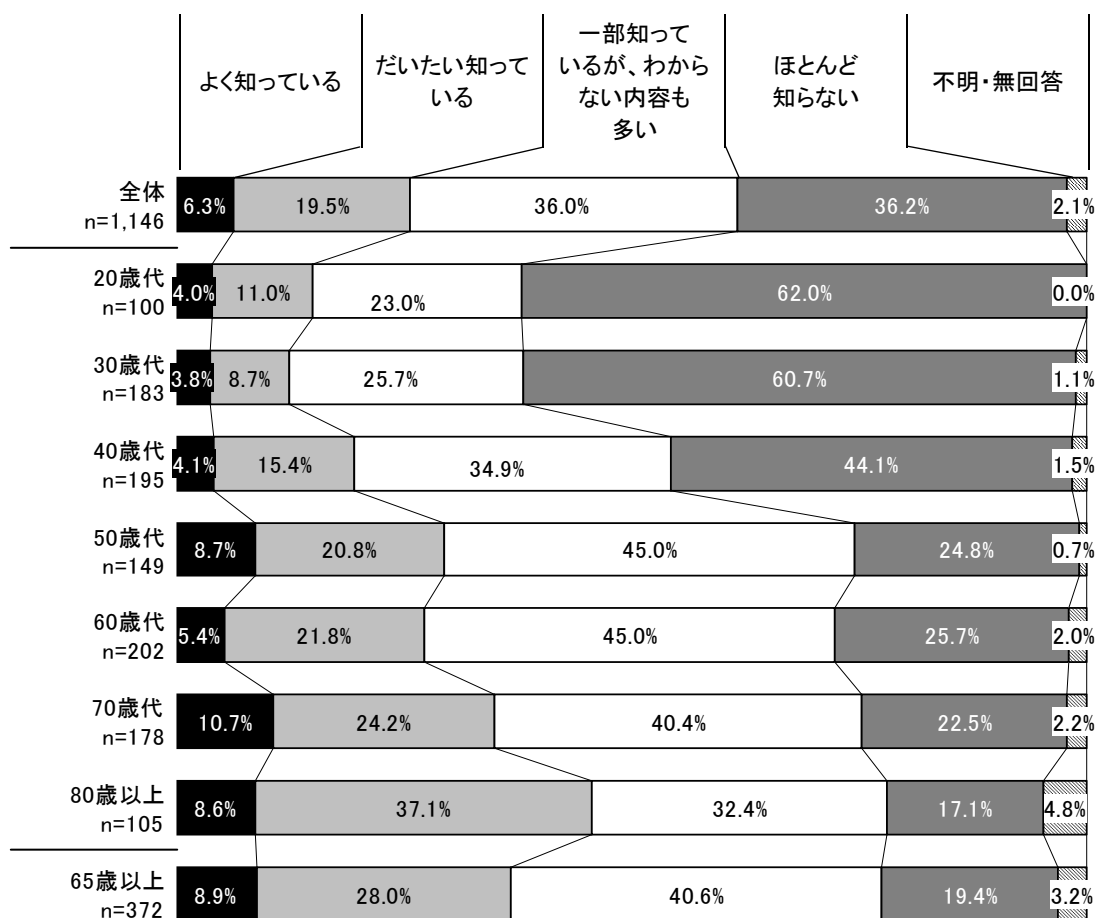
(1) 介護保険制度のしくみについての認識

◆『知っている』は2割強。



○介護保険制度のしくみについて、「よく知っている」（6.3%）、「だいたい知っている」（19.5%）で、この両者を合わせた『知っている』は2割強である。一方、「ほとんど知らない」（36.2%）は3割を超えて最も多く、「一部知っているが、わからない内容も多い」（36.0%）と合わせた『あまり知らない』割合は約7割にのぼる。

◆ 年齢別

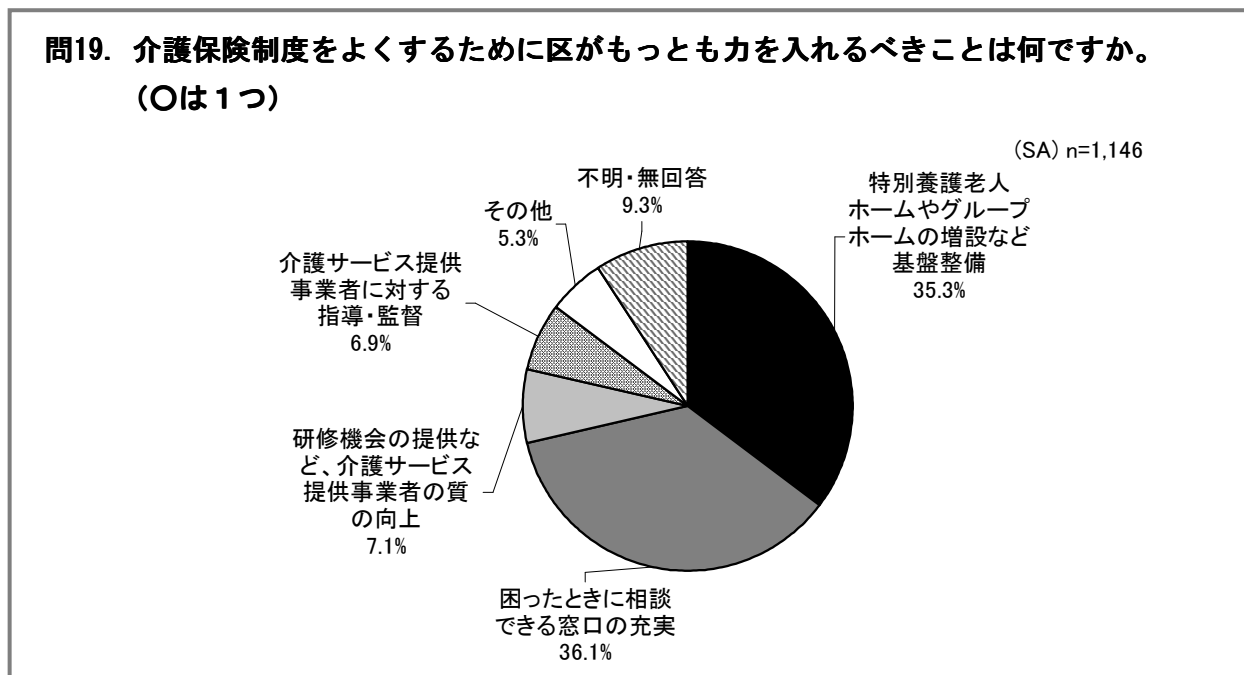


【年齢別】

○年齢別で見ると、年齢が上がるほど『知っている』は高くなる傾向にあり、「ほとんど知らない」は低くなる傾向にある。特に65歳以上では、「よく知っている」（8.9%）と「だいたい知っている」（28.0%）を合わせた割合は36.9%にのぼる。

(2) 介護保険制度を良くするための取組み

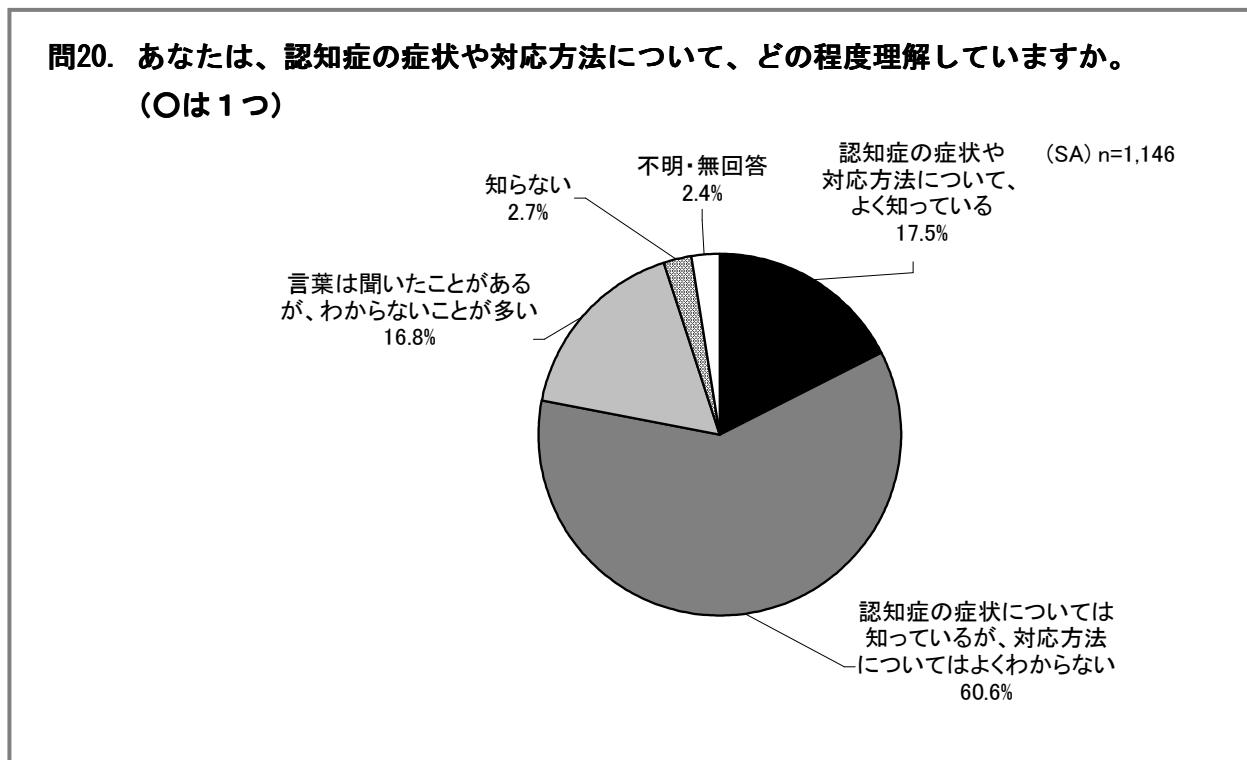
◆「相談窓口の充実」と「基盤整備」で約7割を占めている。



○介護保険制度を良くするために区がもっとも力を入れるべきことは、「困ったときに相談できる窓口の充実」(36.1%)と最も多く、次いで「特別養護老人ホームやグループホームの増設など基盤整備」(35.3%)が多くなっており、この両者で約7割を占めている。

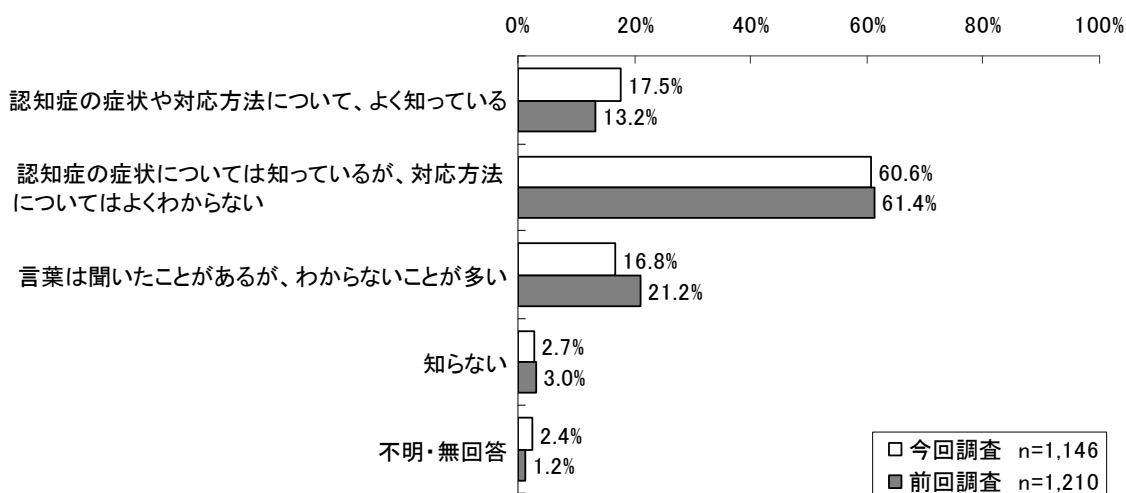
(3) 認知症についての理解度

◆「症状は知っているが、対応方法がわからない」が約6割。



○認知症の症状や対応方法について、「認知症の症状については知っているが、対応方法についてはよくわからない」(60.6%)が約6割と最も多く、次いで「認知症の症状や対応方法について、よく知っている」(17.5%)、「言葉は聞いたことがあるが、わからないことが多い」(16.8%)である。

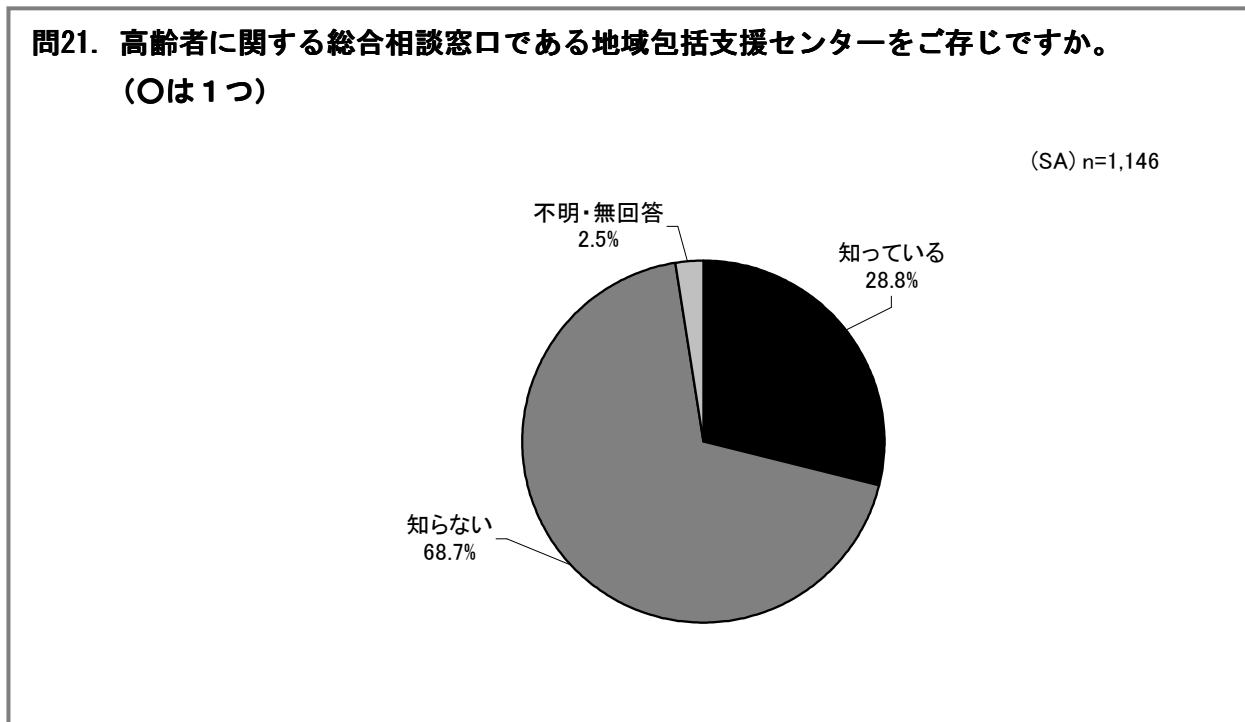
◆前回調査との比較



○今回調査結果を前回調査結果と比較すると、「認知症の症状や対応方法について、よく知っている」は4.3ポイント増加し、「言葉は聞いたことがあるが、わからないことが多い」は4.4ポイント減少し、認知症の認識度は高くなっている。

(4) 地域包括支援センターの認識

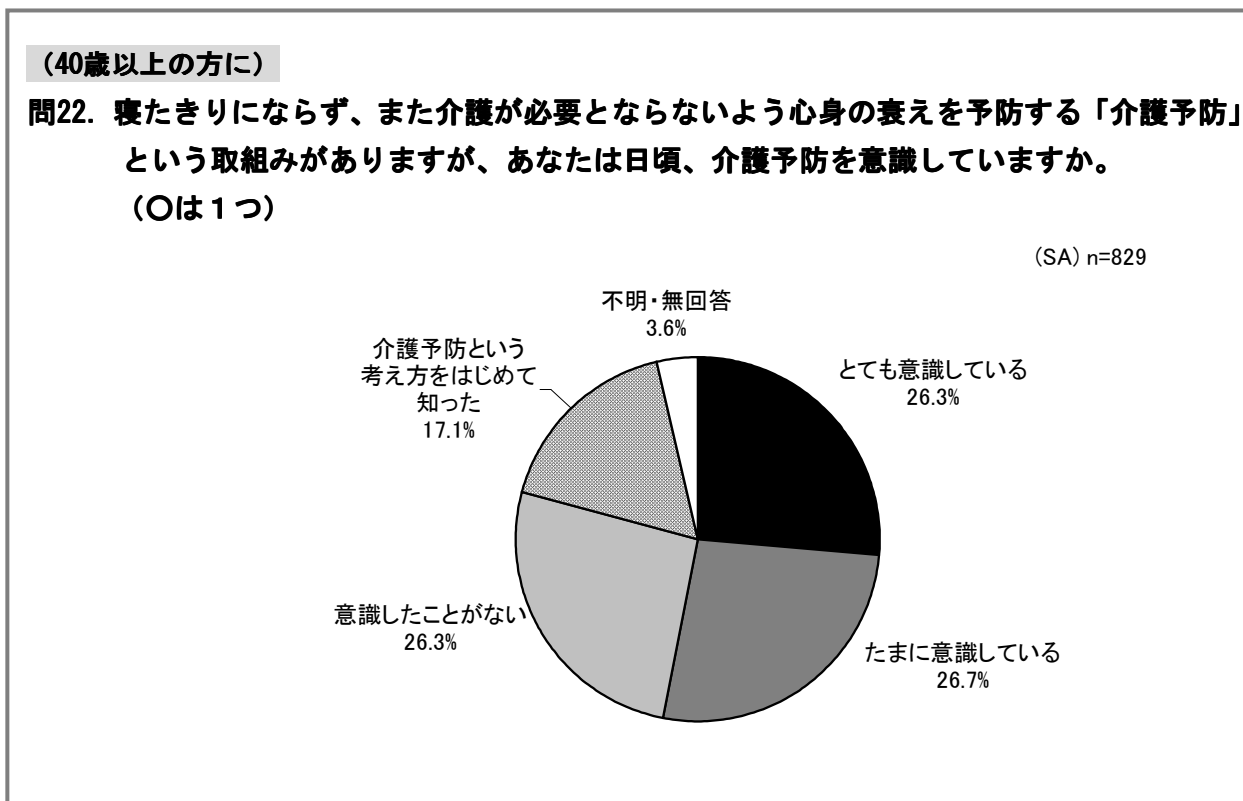
◆「知っている」は4人に1人。



○高齢者に関する総合相談窓口としての地域包括支援センターを「知っている」(28.8%)は4人に1人があげているが、「知らない」は68.7%にのぼる。

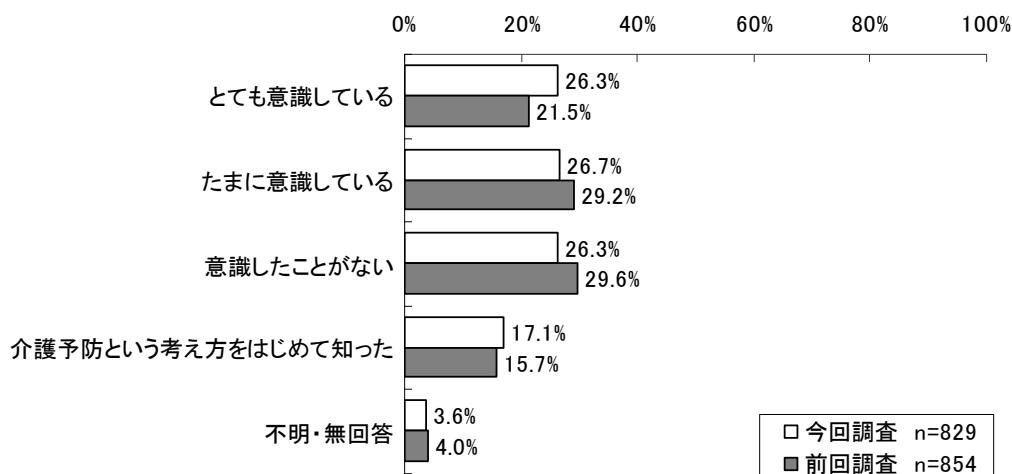
(5) 日頃の介護予防の意識

◆『意識している』は5割強。



○日頃の介護予防の意識について、「たまたま意識している」(26.7%)が最も多く、「とても意識している」(26.3%)と合わせた『意識している』の割合は5割強となっている。一方、「意識したことがない」(26.3%)は3割弱、「介護予防という考え方をはじめて知った」は17.1%である。

◆前回調査との比較



○今回調査結果を前回調査結果と比較すると、「とても意識している」は4.8ポイント増加し、「たまたま意識している」は2.5ポイント、「意識したことがない」は3.3ポイント減少した。